



入園おめでとうございます。

そして進級おめでとうございます。

どんぐり保育園は子どもたちと共に、大人たちもつながりあって、大変

なときには”お互いさま”と助け合っていけるそんな保育園にしていきたいと考えています。

保育園にはじめてお子さんを預けることになる、お父さんやお母さんは“大丈夫かな？”“本当に大切な我が子を預けてよかったのかな？”と心配されるのではないのでしょうか？そんな思いは誰もが思うことです。でも、大丈夫です。保育園には同じようにそんな思いを持って子どもを預けはじめた、先輩お父さん、お母さんがたくさんいます。今ではみんなとても頼もしいお父さん、お母さんです。ぜひ、そんなお父さん、お母さんの力も借りて、助け合える大人の輪を作って行ってください。

子どもたちの育ちにとっては、遊びの仲間が必要で、保育園は遊ぶ仲間を保障していく場所です。子どもたちは、友だちが大好きです。友だちと一緒にいっぱい遊び、時にはケンカもしながら、相手の思いに気づき育ちあって行きます。

子どもの権利条約には、休息、文化的芸術的生活への参加と並んで、遊びの権利が謳われています。子どもたちは、遊びの名人です。遊びには「時間」「空間」「仲間」が必要で、これらを保障することで生き生きと育って行きます。また、好きなことに夢中になること、その時間をたっぷり保障していく中で子どもはたくさんの引き出しを作っていくと思っています。

大宮勇雄氏(福島大学)は、「私たちのよりどころは日本国憲法で、特に第26条の教育を受ける権利です。そして幸せな日々を創り出すことこそが保育の最終目的です。その中で私たちの大事な子どもたちは、必ずや『力強い学び手』に育ちます。私たちは日本国憲法に基づいた保育をする必要があるのではないのでしょうか」と述べられています。子どもたちが健やかに育つためには、平和な社会であり続けることが大前提です。

今、憲法改正問題が出されていますが、育ち学ぶ権利を保障している、憲法を守り、生かしていくことこそが大切だと考えます。

どんぐり保育園の理念には、子どもたちの命と平和を守ることを大切に掲げています。憲法で定めた一人一人の主権と人権が守られ、子どもたちが平和な社会の中で希望を持って生きて行けるより良い社会を築いていけるよう、私たち大人たちは力を合わせて行きましょう。

また、どんぐり保育園は、児童福祉法で定められた国や自治体が責任を持って保育の実施を行うという、本来あるべき保育制度を守って行く取り組みを全国の仲間と共に行っています。子どもたちが大切にされる政治、制度を共に作っていきましょう。

